



平成 28 年 4 月 1 日 発行
牛久市シルバー人材センター広報委員会

牛久市女化町 859-3

電話 029-871-1468

e-mail usiku@sic.ne.jp

会員数 501 名 (男 410 名 女 91 名) 2 月末現在

28 年度事業運営の基本方針

理事長 根岸 幹和

国の現状から見ると、家計や企業に染みついた長年にわたるデフレマインドは、根深いものがあり、なかなか経済の再生は進まず足踏み状態にあります。

シルバー人材センターとしては、自主独立性を高め、事業運営に係る費用を極力抑え、あらゆる方策を講じて収入の拡大を図ることが肝要です。

28 年度の事業を遂行するに当たり心がけることは、牛久市在住の高齢者の方々に一人でも多くシルバー人材センターに加入していただき、運営の母体となる就業会員を増やしていく、そして広く会員に就業がいきわたる様な拡大の仕組みを作り上げ、市の経済活性化の一助を担うことです。会員一人ひとりが自分の持分を自覚し、自らの力で、自らに規律を課し、責任を持った行動のもとに活躍する公益社団法人を構築していくことです。このような一つひとつの積み重ねがシルバー人材センターの信頼を高め、さらにセンターの認知度を勝ち得ていくのです。運営の基本はスピードを持って確実に仕事を遂行していくこと。これに伴い、シルバー人材センター本体も効率的な組織改革を実施し、収支の改善を図っていきます。

団塊の世代が退職期を迎える今、これを受け入れるためには、専門的能力やキャリアを生かす仕事を開拓し、就業先の開拓推進を図ることが肝心です。派遣事業の拡大等就業先の新規展開も視野に入れなければなりません。また就業機会の創出を支えるためには、センター内の事務処理増加に伴う事務局体制の強化も必要となります。理事・事務局職員・会員のそれぞれが職務を効率的に遂行し、シルバー内部組織のガバナンスを高め、社内規程・マニュアルの整備、法人倫理の遵守、社会貢献等を充実させ推進していかねばなりません。

シルバー各構成員のスキルアップを図るため、各種研修会・講習会等への参加、先進センターの調査・視察また新入会員オリエンテーション等を着実に進めていきます。シルバーは理事会、事務局及び各構成員一体となり、急増する高齢者の受け皿として多様な就業機会の創出及び生きがい作りの場を提供いたします。



牛久市シルバー人材センター職場紹介

シリーズ わが職場 No.2

総合福祉センター清掃作業班

牛久市総合福祉センターの清掃メンバーは、男子9名、女子7名の計16名で構成され、日曜と祝祭日を除く毎日を男子2名と女子1名

（土曜日は男子3名女子1名）のシフトで動いています。就業は、1ヵ月6～7日で毎日10時から17時30分までの実働6時間半となっています。男子は、平日2名が手分けして廊下・ロビー等常時使用の12箇所を掃除するとともに、会議室等随時使用する13室のうち当日指定された2～3室も掃除します。また、掃除の合間に午前1回と午後2回、館内外19箇所のゴミを回収し、分別のうへ夫々計量して記録



しています。そして16時25分になったら男女浴室を清掃するのがルーティンとなっています。土曜日は男子3名のうち2名が15時までの平日作業を終えた後、通常の浴室清掃のほか、湯を落として浴槽を洗って新しい水に入れ替えます。残りの1名は、建物の外回りや林間施設の清掃後、15時から浴室清掃の男子2名に代わって、館内清掃作業と和室の畳の空拭き等の結構ハードな作業を受け持ちます。女子は、館内に16箇所あるお手洗いと和室3室・男女浴室の脱衣場を清掃し、土曜日は、カラオケ室利用者の湯飲み茶碗の消毒洗浄の作業が追加されています。

福祉センター内外で出会う方々と交わす一言二言や作業で一日一万歩を越える歩数は、私達の健康寿命を伸ばす一助になっているのは確かです。

仕事仲間の一言

一億総活躍時代を迎え、少子高齢化に歯止めが掛からない中で、福祉センターの清掃作業に従事して今年で3年になります。年齢的に体力の衰えは多少感じますが、福祉センター利用の皆さんが、気持ちよくリフレッシュされることを願い、館内美化に注意を払うことと仕事の責任を適度な刺激として脳を活性化し、仕事仲間と会話を楽しみ、満足感のある充実した日々を送っております。（I・Y記）

理事会審議事項報告

平成 27 年度の理事会が 10 月及び 12 月に開催され、下記の議事が審議・承認されるとともに定例報告がなされました。

第 3 回理事会（平成 27 年 10 月 28 日）

- ① 各専門委員会報告 ②事務局報告（事業経過報告・会員状況・就業状況）

第 4 回理事会（平成 27 年 12 月 22 日）

- ①特定個人情報事務取扱規程について ②代表役員活動報告 ③各委員会報告
④事務局報告（事業経過報告・会員状況・就業状況）



総務委員会

専門委員会活動報告



1. 諸規程の整備継続 : (1)既存規程の見直しをしました。「①公印規程 ②自動車使用要綱」 (2)新規規程の追加承認「特定個人情報事務取扱規程」 (3)研修テキスト及びプレゼンテーション関係の見直し等を実施しました。 2. 地域の美化や公共施設の保全整備 : (1)12/8(火)牛久駅西口三角公園の除草・植木剪定を実施しました。 (2)「市役所～牛久駅東口周辺 及び ひたち野うしく駅周辺」の街路清掃ボランティア活動を実施しました。 3. 体育文化活動の活発化 : 11/16(月)会員の親睦と交流を図る目的で「茨城県庁視察ツアー」を実施しました。(参加人員 23 名)



事業委員会

1. 会員の量的・質的増強対策
①会員募集チラシの継続配備を実施しました。
市役所、奥野・中央・三日月橋・カップの里・エスカード各生涯学習センター
②会員増強への一般公募誌による募集を検討、準備しました。
2. 独自事業の拡充
①パソコン教室の受講生募集をしました。
②「カップ箸」(仮称)の制作実施へ向けて(3/17 試作品の作成)スタートしました。



安全委員会

1. 1 月 22 日(金)牛久市総合福祉センター会議室において、牛久市交通防災課の交通安全強化員(3 名)を招き、自転車安全講習を実施しました。
2. 就業現場安全パトロールの実施
3 月 14 日(月)理事長・副理事長・常務理事・理事 4 名で、剪定作業現場 4 か所を安全パトロール、事故防止・安全作業をお願いしました。



広報委員会



シルバーだより新春号(平成 28 年 1 月 1 日)を発行し、会員に配布するとともに牛久市内の全世帯に回覧しました。「根岸理事長の年頭挨拶と理事紹介」、「家庭でのお手伝い事業」の紹介、「シルバー人材センターの独自事業(パソコン・リサイクル・売店)」の紹介、「会員の声」、「フォト歳時記」、「会員募集」及び「賛助会員」の紹介を掲載しました。



安全委員会だより



28年度 安全就業をめざして

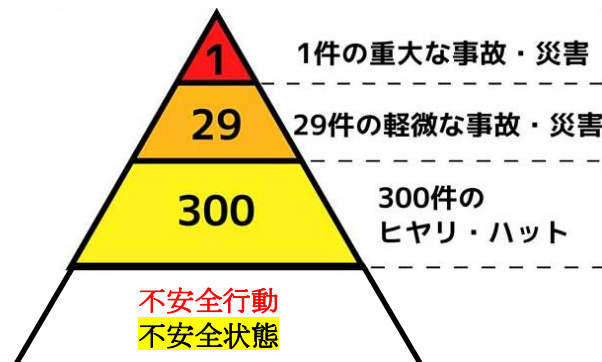
27年度安全就業の取り組みご協力ありがとうございました。27年度事故情報(28年1月末現在)傷害事故3件、賠償責任事故1件発生しました。

安全委員会では28年度も傷害・物損事故0をめざし下記の取り組みを行います。会員皆さまの参加及びご協力をお願いします。

1. 安全パトロールの実施
2. 安全標語の募集
3. 「安全・適正就業強化月間」の実施(7月)
4. 自動車・自転車の交通安全講習会の実施
5. 事故防止の為に安全意識の高揚

ハインリッヒの法則

「ヒヤリ・ハット」という言葉をご存知でしょうか・・・? ヒヤリ・ハットは「重大な災害や事故に至らなかったものの、直結してもおかしくない、一歩手前の事例=ヒヤリとした、ハットとした事例のこと」です。**1件の重大な事故・災害**・災害の背景には、**29件の軽微な事故・災害**があり、その背景には**300件の異常**があるという労働災害に対する経験則の一つ。アメリカの損害保険会社に勤務していたハーバード・ウィリアム・ハインリッヒが、1929年に出版した論文の中で発表したことから「ハインリッヒの法則」と呼ばれています。



ヒヤリ・ハットの更なる背景には・・・

事故には至っていないヒヤリ・ハットですが、このヒヤリ・ハットの背景にはさらに幾千件もの『不安全行動』と『不安全状態』が存在していると言われています。

※会員の皆さま「安全就業」で事故防止に努めましょう!!

27年度 安全標語 優秀作品

- 安全就業は 家を出てから 帰るまで
- 眼と耳を フルに使って 安全を
- 脚立作業 第一段の体重掛けで 安全作業
- 作業前 準備体操 ヒヤリを防ぐ
- お互いに 声かけ復唱 安全作業
- 頑張ろう!! 安全守って 楽しい人生
- まだまだ大丈夫 そう言う私が もう危険
- まず確認 脚立の足元 高所作業
- 安全は 身についた経験 学んだ知識
- 自分だけは 大丈夫が 事故のもと
- 面倒でも いつもの手順 忘れるな
- 誰のため 自分のためです 安全作業

- 「会員番号 735 大川 勝男」
- 「会員番号 285 小松喜一郎」
- 「会員番号 1172 山本 行雄」
- 「会員番号 1444 野内 茂」
- 「会員番号 1479 萩原 一孝」
- 「会員番号 1512 桑名美千枝」
- 「会員番号 1729 斉藤 達良」
- 「会員番号 1794 菊池 猛」
- 「会員番号 1521 齋藤昇一郎」
- 「会員番号 823 宮崎 敏明」
- 「会員番号 682 田中 安敏」
- 「会員番号 872 田中 謙橘」

平成 21 年春 4 月、お江戸日本橋から京都三条大橋までの 500 ㌾を徒歩で行く「旧東海道五十三次チャレンジウォーク」に参加しました。

総勢 47 人の老若男女が旅支度を調べ、期待と不安を抱いて日本橋を出立、毎回二泊三日で 70～80 ㌾を歩き、全行程 500 ㌾を 7 回に分けて京都を目指す企画でした。

最初の難所箱根越えは、今も残る石畳みの山道を昔の旅人に思いを馳しながら登り、由比宿を過ぎ、薩埵（さった）峠からの富士山は見えなかったが、鈴なりのミカン畑は壮観だった。宇津ノ谷峠集落では今も残る「秀吉拝領の陣羽織」に旧東海道に残る戦国時代からの歴史の重さを実感させられ、大井川では川越遺跡で当時の賑わいが偲ばれた。この長かった旅も、西の難所鈴鹿峠を越えてようやく京都三条大橋に辿り着くことが出来ました。

日本橋を出立して足かけ 2 年、全行程を完歩し平成 22 年 12 月 3 日、夕闇迫る三条大橋に立ち、自分の足でしっかりと踏み締めた感触と、ついにヤッタという達成感は私にとって何にも代えがたい宝物となっています。



シルバー『研修親睦日帰りバス旅行』実施



茨城県庁視察研修ツアー

総務委員会 (K.O)

シルバー会員の更なる親睦と交流を図る目的で、11 月 16 日(月)市のバスを利用させていただき「茨城県庁視察研修ツアー」を実施しました。

前日までの雨模様の天候から一変、素晴らしい天気にも恵まれ、澄み切った青空が我々シルバー会員 23 名を迎えてくれました。

早速、バス車内では飲み物、お菓子類が配られ、どの顔も明るく、話が弾み、あっという間に目的地「茨城県庁」に到着しました。

県庁では広報女性職員が 1 時間に亘り、熱心に庁舎を案内して下さり、普段なかなか訪れる機会が少ないなか、大変勉強になりました。当日は天気も良かったこともあり 26F 展望ロビーからの景色は圧巻でした。そして那珂湊お魚市場で新鮮なお魚でお食事と買物を楽しみ、大洗めんたいパークの工場を見学し、帰路に着きました。会員からは早くも＝次回はどこですか？＝との質問もあつたりして、大変有意義なツアーが催行出来ました。





川柳

- ⊗ 薬漬け 症状悪化 寝たきりに
- ⊗ 歳重ね 女の気持ち 焦りだす
- ⊗ 定年で 老ける奴ほど 怠け者
- ⊗ 爺さんよ しゃめっ面に 福来ない
- ⊗ 育メンが 育休とって 火遊びを
- ⊗ マイナンバー 大事にし過ぎ 見つからず

—— 瀏旅人 ——

- ⊗ 高速道 軽に抜かれて 孫怒る
 - ⊗ 万歩計 昔 2 万で 今 2 千
 - ⊗ 助手席の 妻の注意が 気にさわる
- 井田 勝 ——

- ⊗ 診断は 今度もやっぱり 「加齢だね」
 - ⊗ 今医者^みは 体診^みないで 画像^み診る
 - ⊗ 医者通い 薬中毒 早死にし
- 太平記 ——

- ⊗ 白鵬が 年で落ち目を 飛んで勝ち
 - ⊗ この年で 今更直せは 出来なくて
 - ⊗ 紅葉に したたかさ教え 喜寿^{ひと}の女
 - ⊗ ドジなドロ 人と一緒に 盗んだカー
 - ⊗ 五郎丸 乗りに乗って ディナーショー
- クボハゼ ——

狂歌

- ⊗ 値引き品 賞味期限 ギリギリも
年金暮し 応援団
 - ⊗ 定年後 定年なしで 妻の下
炊事洗濯 おお忙し
- 瀏旅人 ——

- ⊗ 仕事（国会）せず ボーナスもらう 気が引けて
正月四日 仕事始めに
 - ⊗ 保険金 受け取る人なく 20 億
どこへ行くやら おこぼれ来るか？
 - ⊗ 暖冬に 灯油安くて ヌクヌクと
この付けどこで 払わされるか？
 - ⊗ 雪の日も 休むことなく 出勤し
勤勉日本 それでも借金
- クボハゼ ——

俳句

- ⊗ 梅香る めでる野立ても 風寒し
 - ⊗ 菜の花を 留めて淡き おぼろ月
 - ⊗ 徒然に 青葉の小径 踏み分けて
 - ⊗ 日だまりの 水仙の花 風揺す
- 宵の明星 ——

短歌

- ⊗ 梅林に 初啼き鳥の 谷わたり
乾き田畑で 老婆の鋤が
 - ⊗ 育休に ルビを振ったら フリンキュウ
読み間違いで 議席失う
 - ⊗ 供白髪 そんな約束 していたが
妻は茶髪で 俺のはどこへ
- シジュウカラ ——

事務局からのお知らせ

<会費納入のお願い>

会費の納入は6月末が期限です。
振込もしくは、現金でお支払下さい。
1年以上未納の方は、規定により退会となりますので
ご了承下さい。ご都合により退会を希望される場
合は、ご連絡をいただくと助かります。

<提出をお願いします>

- ① 健康診断結果のデータ（年1回）
- ② 健康保険証のコピー（保険証更新の都度）

<携帯電話番号をお知らせ下さい>

携帯電話をお持ちで、携帯での連絡が可能な方、
事務局にまだ報告していない方は、番号をお知らせ
下さい。 ※強制ではありません。

<就業中の方へ>

平日の事務局への連絡は、まず事務局 871-1468へ
お願いします。
職員携帯へは、原則、土日祝日の緊急時のご利用に
ご協力下さい。

<未就業の方へ>

- ・手作業による草取り作業
- ・清掃作業（トイレ清掃あり）
- ・ワゴン車の運転
- ・力仕事を伴うトラック運転

就業希望の方は、事務局へお越し下さい。
定員や、諸事情によりご紹介出来な場合もあります
のでご了承下さい。